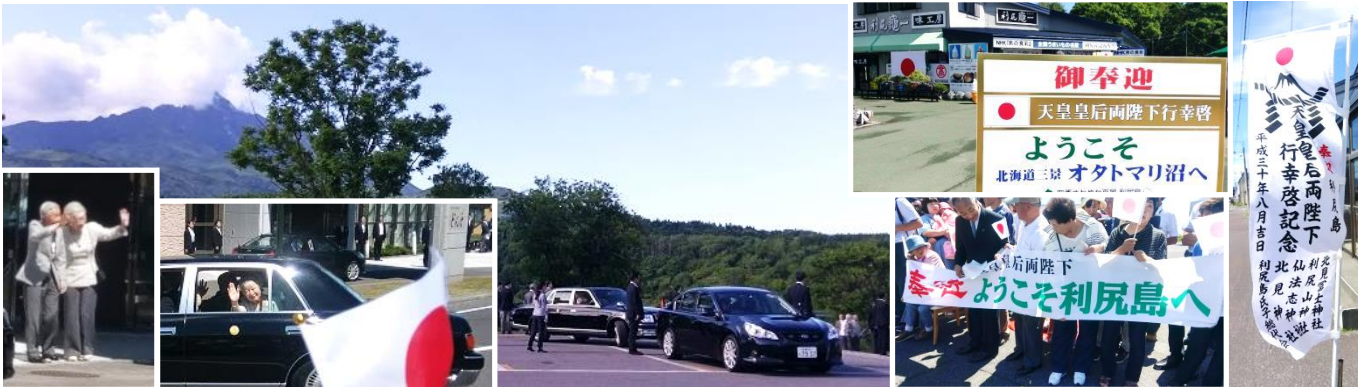




# 天皇皇后両陛下 利尻島を行幸啓

□8月3日から5日、天皇皇后両陛下におかれましては北海道へ行幸啓あそばされました。3日は北広島市、4日は利尻島、5日は札幌にお出ましあそばされるところ、ちょうど北海道旅行を計画していた私家族は利尻島で両陛下を奉迎する幸運に恵まれました。両陛下は4日お屋前に利尻空港にご到着、それから利尻島をご一周あそばされました。利尻島民挙げての沿道での奉迎は誠ににぎやかなものでした。両陛下は、うに種苗生産センター、オ外マリ沼をご視察あそばされました。 清須市議会議員 まつかわ秀康



## 碧南市にて憲法おしゃべりカフェが開催さる



□去る7月18日、碧南市にて憲法おしゃべりカフェが開催され、新作DVD「今そこにある危機と自衛隊」を上映。猛暑にもかかわらず、50名程の参加者があり、碧南市長や地元県議員からも来賓挨拶が述べられた。

## 皇太子殿下を近鉄名古屋駅にて奉送迎

□去る7月31日と8月2日、皇太子殿下の奉送迎を近鉄名古屋駅にて実施した。皇太子殿下は高校総体の開会式御臨席や豊受大神宮と皇大神宮の御参拝、鳥羽商船専門高等学校などの御視察を終えられ、ご機嫌麗しく御帰京なされた。



## 憲法改正議連が安倍首相と懇談

□去る8月3日、憲法改正を考える自民党愛知県議会議員連盟(会長 直江弘文議員)は衆議院会館にて安倍首相と懇談。安倍首相より、憲法改正には引き続き国会で議論を深めていきたいとの言葉があった。

愛知県議会議員 南部ふみひろ



## 護衛艦いずも乗船見学

□去る7月22日、名古屋港に停泊中の護衛艦いずもの見学会に参加した。同艦は最新鋭のヘリコプター搭載艦で平成27年に就役。その威容はまさに空母と呼んでも過言ではない。当日は多くの見学者で賑わい、自衛官から懇切丁寧な装備の説明を受けていた。厳しい国際情勢の中、海洋国家日本の守りにについている海上自衛隊に心から敬意を表します。 愛知県議会議員

元陸上自衛官 南部ふみひろ





平成三十年度 硫黄島戦没者 遺骨收容派遣団 参加報告

先の大東亜戦争より今年は七十三年が過ぎ、間もなく敗戦記念日が遠つて来ます。去る六月二十六日より七月十二日にまで、入間基地より硫黄島戦没者遺骨收容団員として往つて参りました。ご存じのように硫黄島戦は栗林大将以下二万四千九百九十九名が従軍し、生還者は一千二十名(厚労省資料による)最後の生還者は昭和二十四年一月一日の二名)まさに百死零生の戦場でした。

未だ、約一万五百柱(厚労省平成二十九年年度)の御英霊が、主に地下壕・洞窟陣地に遺骨と為つて祖国帰還を待つて居ます。私は永年硫黄島の御英霊を慰霊したいと願ひ、水戸二連隊ペリリユー島慰霊会より派遣団員として参りました。今、私たち日本國民が此の幸せを享受し、暖衣飽食に浸かりながら、口角泡を飛ばし不平不満に明け暮れている様は、御英霊に対し誠に申し訳が立たないと心から思いました。在島中は毎朝、御英霊に般若心経をあげ慰霊と作業の安全を祈りました。收容作業は、壕内はもとよりトーチカ跡の堆積物(砂・石・泥)をリレー方式で排除・排出し箒や箕を以て篩(ふるい)に掛け御遺骨等を選別します。頭骨・脊椎・大腿骨や顎骨等主要な骨格も在ります。日々の御遺骨を收容捧持して、霊安室に安置し団員全員で慰霊拝礼します。今回は二十五柱の御英霊を收容でき一度の收容派遣としては今までに無い好結果で、昨二十九年度は全部で十七柱でした。作業中には不発弾・砲弾・機銃小銃弾や実包・手榴弾・化学弾・薬品(アンブル・錠剤等々)メガネ・印鑑・万年筆・鉄兜・銃剣・拳銃・陸軍手帳・小銃などの遺品も沢山一緒に出て来ます。また壕内は硫黄ガス・水蒸気・硫化水素ガスなどが噴出し、地熱も高くまさに火山島で御英霊のその闘魂に、ただただ頭が下がり、涙なくしては收容作業は出来ません。なを青森師団より化学部隊と不発弾処理部隊の自衛隊員の協力支援と基地駐屯海上・航空自衛隊の全面的支援は謂うに及びません。感謝在るのみです。硫黄島は水の無い島で天水(雨水)以外なく、壕には一升瓶始め容器が沢山出て来ます。誠に悲しく言葉が在りません。また再訪し御英霊遺骨收容に参加する所存です。 合掌

日本会議知多支部支部長 鈴木直人

平成六年 硫黄島

天皇陛下 御製

精根を込め戦ひし人未だ 地下に眠りて島は悲しき

皇后両陛下 御歌

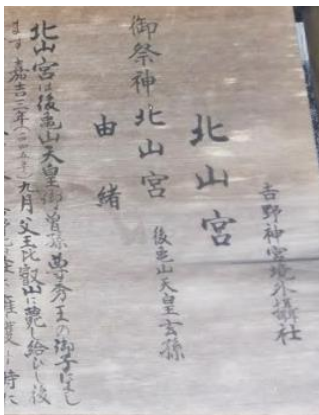
慰霊地は今安らかに水をたたふ 如何ばかりか君ら水を欲りけむ



陵墓参拝記 その四十三

上北山村瀧川寺内にある北山宮墓を参拝した後、川上村に戻りかけたところにある北山宮という神社も参拝しました。二礼二拍手一礼北山宮に御由緒書きがありました。これを読みようやく歴史の流れがわかりました。あまりにも下調べが不十分であったことを反省しました。御由緒書きの抜粋です。

「北山宮は後龜山天皇御曾孫の尊秀王の御子にまします。嘉吉三年(一四四五年)九月父王比叡山に斃れし給ひし後遺臣神璽を王子に奉り吉野北山莊に擁護。時に嘉吉の乱に滅びし赤松氏が余党主家を再興せんとして詐り長録元年(一四五四年)十二月夜半大雪に乗じて丹生屋帯刀佐衛門 同 史郎佐衛門等兄弟 北山宮の御座所を犯して王子を殺し奉り神璽を奪ひ御首を奉持して逃る。郷民此を追撃して母谷にて兩名を討ち神璽並御首を取返し御遺體に合せ御座所後苑に奉苑す。亦門島彦太郎 上月満吉 中村貞友等 北山宮と期を合せて河野宮の御座所を襲いて弟宮を殺し奉り貞友御首を奉持して遺るも御氏塩谷に要撃して御首級を取返し御座所の上に葬り奉る。神璽は南朝皇族護らせ給しも翌年八月赤松氏が残党小寺藤兵衛取出し京都へ奉れり。に遺臣郷民悲憤し且宮を追慕する事急にして翌年十二月此地に祠宇を建て心を王子に奉りて諭らす。子孫相伝して五百幾星霜を経ぬ。明治三十五年一月吉野神宮境外撰社に列せられ。云々



本日の宿は丹生川上神社上社の眼下に横たわるおたき龍神湖畔のホデル杉の湯というところ。話を聞くと豊かな海づくり大会の時、天皇皇后両陛下もここでご休憩あそばされたそうです。ありがたしいこと。目に留まったのがカウンターの前に立てかけて売られていた一冊の本です。タイトルは「沈黙する伝承 川上村における南朝皇胤追慕」増田隆著(京阪奈情報教育出版会)によし文庫)です。当たり前のように即購入しました。そして帰宅後すぐに読み、読了後これを書いていきます。是非お奨めしたい一冊です。赤松方の人間を村に受け入れたがために北山宮、河野宮の両宮を失うこととなった村民の悲しみと後悔が朝拝式という儀式として五六一回途切れることなく続いています。そのことが歴史家の説とは多少違う川上村の伝承とともにつづらられています。 愛知県本部事務局 松川秀康

事務局日誌(七月) 服部守孝

一日(日)第一〇六回愛知県護国神社清掃奉仕会に参加。終了後は、月並祭にも参列させていただきました。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 9月2日(日)午前8時開始。※清掃奉仕終了後、9時より「月参り」に参列いただけます。
- 引き続き10月7日(日)午前8時開始とします。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。



(8月5日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。

四日(水)戦争展全体会議に参加。一か月と迫った展示会の運営体制を確認する。 七日(土)西日本を中心に大雨による被害が報道されており、当該地域に住む方々の無事を祈る。 九日(月)真清田神社の辰守弘宮司を訪問。来る八月二十六日に一宮市で開催される、愛知竹田研究会のご案内を申し上げた。 十六日(水)碧南市で開催された、憲法おしやべりカフェに参加。国民投票の具体的イメージをお話する。 二十二日(日)岐阜市で開催された、日本協議会東海ブロック夏季セミナーに参加。 「平成の御代替りを控えて」と題した講演を拝聴した。 二十五日(水)所要にて伊勢市へ。用務終了後、豊受大神宮と皇大神宮を参拝。丁度、還暦の誕生日だったので、これまで生かされてきた感謝と残る人生を全うできるよう祈願させていただきます。 三十一日(火)皇太子殿下を近鉄名古屋駅にて奉迎。殿下は本日より三日間、豊受大神宮並びに皇大神宮の御参拝、高校総体開会式の御臨席、鳥羽商船専門学校などの御視察など三日間の御日程で三重県を行啓あそばされる。